

テーマ：人と人とのつながりによる学びの広がり ～働く世代を対象とした大人の学び～【概要】

課題

- ・人口減少・少子高齢化の進行に伴う、地域活動や社会教育活動の担い手不足と地域コミュニティの維持

テーマ設定の理由

- ・地域社会を支える 20 代から 40 代の働く世代に着目し、学びを通じて人や地域とつながり、地域活動へ参加するための方策を検討
- ・学びの成果を地域づくりや地域課題の解決につなげる仕組みづくりや、それを支える社会教育人材の養成・育成の在り方について検討

審議の視点と提言

柱	審議の視点	提言
1 生涯学習・社会教育の学びの環境づくり	・働く世代が学び続けられる学習環境とはどのようなものか。 ・働く世代が関心を持つ学習テーマとはどのようなものか。 ・効果的な情報発信の方法とはどのようなものか。 ・学習相談・支援体制とはどのようなものか。	○学びへの参加ハードルを下げる工夫 ○オンラインなどの参加形態や参加・離脱がしやすい柔軟な仕組みの工夫 ○仕事やキャリア形成につながる学習機会の充実 ○SNS やウェブ等を活用した多様な情報発信 ○学びを案内するナビゲート機能の充実 ○一人ひとりに合った学びにつなげる相談支援体制
2 社会教育人材の養成と育成	・学びと地域をつなぐ人材の育成とはどのようなものか。 ・地域人材の経験や専門性を生かす方法とはどのようなものか。 ・指導者の発掘・養成・活用の在り方とはどのようなものか。 ・デジタル活用を支える人材の育成とはどのようなものか。	○学習者に寄り添い、学びを地域活動へつなぐ人材の育成 ○人と人、人と地域を結び付けるコーディネート力の向上 ○地域人材がもつ経験や専門性を学びや地域活動に還元する仕組みづくり ○知識や技能を生かして地域で役割を担う機会の充実 ○学びの受け手から担い手への成長支援 ○企画・運営への参画機会の拡充 ○個別支援による学習参加の促進 ○デジタルと対面の特性を活用支援する人材の養成・育成
3 つながりをつくる仕組みづくり	・異分野・異世代の交流を生み出す仕組みとはどのようなものか。 ・学びを地域に還元するために必要なこととは何か。 ・地域資源を活用した学びの場とはどのようなものか。	○小さな関わりから始める交流機会 ○多様な立場の人が参加できる緩やかなつながりの形成 ○学びと地域活動の循環を生み出す仕組みづくり ○人の出会いや対話が生まれる場づくり ○学びや交流が生まれる場づくり

働く世代（20 代～40 代）の学びを地域の方へつなげるために

【取組】

- 生涯学習・社会教育の学びの環境づくり
- 社会教育人材の養成と育成
- つながりをつくる仕組みづくり



【生み出されるもの】

- 人と人とのつながり
- 学びと地域活動の循環
- 継続的な参画



【めざす姿】

- 担い手の確保
- 地域コミュニティの活性化
- 持続可能な地域づくり